

「知事とみんなの愛顔でトーク」における意見・提言の県施策への反映事例

【26年度】

| 年度 | 地方局 | テーマ | 意見・提言の概要 | 県施策への反映状況 |
|----|------------------|-------------------------|---|---|
| 26 | 中予地方局 (久万高原町) | えひめ国体に関わるスタッフへの情報提供について | 国体開催時には、警備や接待は、地元のボランティアの方になると思うが、予算の関係上、そういった方に国体を見ていただく機会がない。国体の内容を撮ったビデオ等があれば、お手伝いをしていただく方に啓蒙し、ご協力を得ることができるのではないか。競技のビデオではなく、内容のビデオがあれば、ぜひ、ご用意をお願いしたい。 | 全市町に、ぎふ清流国体（24年度開催）のビデオ映像（DVD）を送付した。 〔内容〕 ①収録時間は約2時間、うち「県民総参加」関係は20分強。 ②国体・障スポ大会の開閉会式、各競技会に加え、地域での活動である県民運動、炬火リレー等の様子を詳しく収録。 【えひめ国体推進局】 |
| | 中予地方局 (久万高原町) | えひめ国体を目指す少年へのサポートについて | えひめ国体でのバドミントン競技が砥部町で実施される予定で、少年のほうの中1から中3は、国体のターゲットエイジ事業の対象であるが、ターゲットエイジとして練習している子どもたちは国体を経験する機会がなく、えひめ国体がぶっつけ本番になると思う。そのため、練習をずっと頑張っている子たちも、国体のイメージができるような仕組みができれば、もっと頑張っていこうという流れになってくると思う。 | 26年度6月補正予算で、「えひめ国体ジュニアアスリート強化事業費」を計上、東京オリンピック開催決定後、全国的にスポーツ振興の取組みが加速していることから、えひめ国体に向けて、ジュニア選手を中心とする競技力向上対策の充実を図ることとした。 〔内容〕 ①えひめ国体ジュニアアスリート強化支援金制度 中央競技団体から、日本代表(世代別代表、代表候補などを含む)に指定され、国内合宿や海外遠征に参加する本県関係選手に対し、強化支援金(国内合宿5万円、海外遠征10万円)を支給する制度(国体実施41競技及び国体で実施が検討されている7競技種目が対象) ②えひめ国体重点強化指定校へのトップコーチ派遣 県競技力向上対策本部が指定する「えひめ国体重点強化指定校」に、ジュニア育成に優れた実績を持つ全国トップレベルの指導者を招へいし、集中指導を実施する。 【教育委員会】 |
| | 南予地方局 (宇和島市) | 空き家の利用促進について | 最近遺品整理、片付けの仕事が増えているが、片付けた後、子世代の方は、都会のほうで生活しているため、その家は空き家になってしまう。解体や撤去も大事であるが、空き家の利用促進が大切だと実感している。南予だけの問題ではないと思うが、今後、空き家に対する利用促進をどう考えているのか。 | 「地方へ新しい人の流れをつくる」という国の総合戦略に基づき、従来の移住施策に加え、平成27年度より、地域住民の主体的な取組みを支援し、移住者受入体制の強化や情報発信力の強化等により、更なる移住者の呼び込みを図ることを検討している。 〔検討内容〕 ○東京に専任移住相談員を設置(相談窓口、情報発信等) ○現役世代及び将来の子育て世代となる若い移住希望者をターゲットとした本県単独移住フェアの実施 ○空き家利活用の課題解決のためのノウハウ収集及び分析 ○空き家バンクの充実 【企画振興部】 |
| | 中予地方局 (伊予市) | 移住促進に向けての空き家対策について | 移住促進での一番のネックは、受入れの住まいに関する問題、空き家対策である。山間部、農村部、漁村部になると住んでもらえるところがなかったり、空き家があっても、使用を検討して下さる方は少ない。新しく建てるよりも、そういったストックをうまく活用して、人の流れを生むようなことができないか。県の空き家対策としてどういう動きがあるのか、また、今後どういうビジョンを描いているのか。 | |
| | 南予地方局 (宇和島市) | スマの市場での位置付けについて | 養殖業としてのスマのイメージ湧かない。幼魚としてスマが市場に出た場合のマーケットはどういった位置付けなのか。クエやマハタみたいな高級魚なのか、それとも安い価格訴求の魚なのか、作る側、生産者側の勝算はあるか。 | スマを愛育フィッシュの新たな高級魚として普及させるため、養殖技術開発と並行して、知名度の向上やブランド化、販路開拓などの流通販売対策を検討・実施することとしており、27年度は、次の事業の実施を検討している。 〔検討内容〕 ○ネーミングやロゴマークなどを含めた具体的な販売戦略の検討 ○知名度向上やブランド化のためのプロモーションの実施 |

| | | | | |
|-----------------|-------------------------|---|--|--|
| | | | | ○養殖実証試験の実施 【農林水産部】 |
| 南予地方局 (宇和島市) | 愛南町におけるヘリコプターでの救急搬送について | 県の防災ヘリがドクターヘリで動いているが、愛南町にドクターヘリのドクターがいないので、救急ヘリで、消防署の救急隊員が同乗していくという形を取れば、かなり経費も節約できる。1機常駐で配属してもらえれば、愛南から松山まで15分か20分で飛べるので検討してほしい。 | | 他県の先進事例等を踏まえ、愛媛県らしいドクターヘリシステムの構築について、検討していくこととしている。 【保健福祉部】 |

【25年度】

| 年度 | 地方局 | テーマ | 意見・提言の概要 | 県施策への反映状況 |
|----|----------------|------------------------------|--|--|
| 25 | 中予地方局 (砥部町) | 農業従事者の結婚対策について | 砥部町の青年農業者協議会には22歳から30歳代までの若い男性が所属している。高齢化が進んでいる一方で若い人たちが頑張って農業しているが、結婚していない。どうしたら結婚できるようになるか。 | 農業後継者を対象としたイベント開催は可能であるので、えひめ結婚支援センター事務局に対して、砥部町青年農業者協議会からイベント開催等の相談があれば、対応するよう依頼した。 【保健福祉部】 |
| | 中予地方局 (松山市) | 防災分野における女性参加及び防災士養成講座の継続について | 23年度から3年計画で防災士養成講座をしていただいて、昨年私も受講させていただき、やっと少し表に出て活動ができるようになったが、愛媛県全体で2年間で1,000人ほどの受講者、合格者のうち女性は1割にも満たない。この講座は今年度で終わりということが大々的に言われているが、是非もっと継続していただき、男性防災士に加えて女性防災士を加えていただいて、地域の自主防災組織の役員として女性が数多く参加して活動できたらいいと思う。 | 県では、自主防災組織における防災活動の中心的な役割を担うことのできる人材を確保するため、平成23年度から平成25年度の3年間、防災士を養成するための講座を実施しており、目標とする約1,500人の養成を達成する見込みである。 しかしながら、防災士が高齢化していることなどにより、後継者の育成が不可欠など課題も散見されることから、引き続き講座を継続することとした。また、防災士の女性参加についても、今後積極的に呼びかけていくこととしている。 【県民環境部】 |
| | 南予地方局 (鬼北町) | 岩松地区の松の保存について | 岩松地区の川沿いに松の並木があるが、道路拡張や松くい虫の被害等で残り2本になっている。その松は町並みにとって貴重な存在で、先月2本のうちの1本が松くい虫にやられて枯れ、残り1本になった。残りの1本は岩松にとって貴重なシンボリックな松であるため、もし護岸整備をする時は、伐採する方向でなく保全する方向で検討していただきたい。 | 現地確認の結果、 ①当該箇所は一定の確率規模による洪水を安全に流下させるだけの断面があることから、現時点において河道を拡幅することにより護岸を整備する予定はない ②また、併せて松の周辺を確認したところ、一部護岸に腹み出しが生じていることから護岸修繕等対応が必要である 以上について、御意見をいただいた方に対し現地において説明を行い、併せて松枯れの影響にならないよう、御意見をいただいた方等地元意見を取り入れながら護岸修繕工事を行った。 【土木部】 |
| | 南予地方局 (鬼北町) | 鬼北町のラジオ受信環境整備について | 日吉地区の火災の際にケーブルテレビの配線が延焼によって被害を受けた。日吉地区を含め鬼北町はFMラジオが入らないところがあり、AMラジオはほとんど入らないところが多い。これから先起こり得る地震の際には携帯電話が使えないは当たり前であり、地元の人々はAMラジオ等から情報が何も取れない。地震に備えて公共のFM、AMラジオを常に受信できるような環境を整えてほしい。 | AM・FMラジオの難聴解消については、平成25年8月に国が行った電波利用料の見直しに係るパブリックコメントについて、難聴解消対策の財源に電波利用料の活用が必要不可欠である旨、国に対して意見提出を行っている。 また、平成25年10月に開催された全国都道府県情報管理主管課長会議では、「ラジオの難聴解消等について」を国への要望事項として決議したところであり、今後国に対して要望活動を行うほか、本県独自の取組として、放送事業者に対し要望活動を行う予定である。 【企画振興部】 |